

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	湯布院伝統の「馬」がつなげる、教育・福祉・農業・市民活動の輪づくり事業 ～2005年合併の由布市三町の絆を深める～
対象地域	大分県由布市 湯布院町・挾間町・庄内町
対象地域の概要	田園風景を特徴に栄えた観光地に増える休耕不耕作農地。農業人口の減少、高齢化。   荒れる不耕作地
提案内容の概要	30年の歴史を持つ辻馬車の馬の、観光の枠を超えた新しい公共的な役割として、馬とのふれあい活動や乗馬療法の活動を行う。これら馬を利用した療育活動は身体障害者へのリハビリ効果や、発達障害や不登校など教育問題の改善を期待でき、さらに活動を休耕不耕作地で行うことで、荒廃した農地が癒しの場として活性化される。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	2008年度に当団体で試験的に、ホースセラピー体験事業を2回実施した。このとき当地域で不登校や発達障害の問題を抱えている方からの相談が多く寄せられ、これらの問題に対応するニーズは高いと考えられる。また、休耕不耕作地は増加し、しかも手つかずであるため、荒廃化が進んでいる。休耕地の活用については、早急の対策が必要だと考えられる。
(2) 活動内容の案	活動①：馬を利用した療育活動① 馬とのふれあい 内容：馬の手入れ(馬をブラッシングしてきれいにする、馬にえさをやる、馬の糞を掃除する)や、馬と行う散歩するなど、馬とのさまざまなふれあいを通じた教育活動を行う。 感情が豊かで頭のいい動物である馬を手入れしたりいっしょに歩いたりして、コミュニケーション・スキルも養われる。特に発達障害児など、対人的な関係の構築を苦手とする子どもたちには大きな教育的効果がある。 活動②：馬を利用した療育活動② 乗馬のトレーニング 内容：乗馬のトレーニングを通じた、療育活動を行う。 乗馬は、っている人が馬の様子をよく感じながら行うスポーツなので、不登校やひきこもりなどで家に閉じこもりがちな人が、対人関係におそれず楽しめるスポーツとなり、また、馬との対話の技術を積み重ねることによって、対人関係やソーシャル・スキルに問題を持つ人の社会復帰にもつながりうる。 また歩行に困難を持つ人などのリハビリとしても効果が高い。 活動③：馬を利用した療育活動③ 馬によるトレッキング 内容：よく訓練された馬と、技術のあるガイドがいれば、乗馬経験の無い人が馬に乗って、野外にトレッキングに出かけることもできる。高齢者もその例外ではない。馬に乗って地域の自然を体感し、豊かな感性が育まれることが期待できる。
応募団体名	特定非営利活動法人インフォメーションセンター 由布院事業所
リンク	インフォメーションセンター本部 http://www.ryufo.com/ * インフォメーションセンター由布院事業所 http://www.d3.dion.ne.jp/~minakaze/poni-.html
部局／担当者名	インフォメーションセンター由布院事業所 田井修二(南の風内)
連絡先	特定非営利法人インフォメーションセンター由布院事業所(レストラン南の風内) 〒879-5102 大分県由布市湯布院町川上 3616-1 (レストラン南の風内) 電話 0977-84-5301 (南の風内) メール minami-kaze@blue.ocn.ne.jp
推薦市町村名	大分県由布市